

次期観光戦略の取組の方向性(たたき台)

資料 4

	取組の方向性	説明（必要性）	考えられる取組の例	関連するキーワード
①	「選ばれる観光地」をめざし、自然や歴史に培われた文化、産業、食の魅力・ポテンシャルを引き出す観光コンテンツの開発	<p>○淡路島を旅先に選択してもらえるよう、淡路島ならではの魅力について、知的好奇心をくすぐる観光コンテンツが必要。</p> <p>○旅の動機・目的が、非日常・物見遊山型から、異日常・個別テーマ型へ変化し、旅先の「日常」の風景、活動も観光資源となり得る。</p> <p>○デジタル技術を活用したリモートでのリアル体験や仮想空間での体験など観光需要の創出が必要。</p>	<p>○日本遺産の紹介にとどまらず、国生みの島・淡路の神話の背景を解き明かすストーリーを観光コンテンツとしての作り込み磨き上げ</p> <p>○美しさ、おいしさ、すごさ等の紹介のみならず、これを生む努力・技に関するバックストーリーの展開</p> <p>○地場産業や農水産業の日常や技術に触れ、共感できる観光コンテンツの開発（工場見学・ものづくり体験・魚介類のイートイン）</p> <p>○淡路島の海、文化、食とコラボし、旅をきっかけとして健康になる「ヘルスツーリズム」の推進</p> <p>○ドローンによる登頂、飛行等を体験できる観光メニュー</p>	<p>・古事記冒頭から現代へとつながるストーリー</p> <p>・地域のストーリーにより「歴史」を楽しむ</p> <p>・「美食」が生まれた背景の見える化と「やすらぎ」の推進</p> <p>・「ヘルスツーリズム」の推進</p> <p>・着地コンテンツの多様化、高単価・高付加価値化</p> <p>・「新たな観光事業の創出」や「新たなコンテンツ開発」</p> <p>・「DX」の推進</p>
②	京阪神だけでなく、首都圏、海外等遠隔地発のシェア拡大に向けた誘客の促進	<p>○淡路島が便利で近い京阪神からの高い観光客シェアに依存することは、大きなリスク。</p> <p>○遠隔地からの来訪者の動機付けのためには、付加価値の高い観光コンテンツの磨き上げが必要。</p> <p>○遠隔地発のシェア拡大により、観光の消費単価を押し上げ。</p> <p>○2023兵庫DC、2025大阪・関西万博、さらにその先へと全国世界中から関西に注目が集まる絶好の機会。</p>	<p>○新幹線、空路（神戸・関空・徳島）からの誘客の促進</p> <p>○テーマとターゲットを明確にした周遊ルートの提案</p> <p>○徳島県や瀬戸内地域との広域連携による周遊ルートの提案</p> <p>○観光資源をより深く楽しめるためのストーリーの磨き上げ（観光商品・サービスの高付加価値化）</p> <p>○淡路島ならではの楽しみ方、過ごし方をテーマ別に情報発信</p>	<p>・首都圏顧客層、インバウンドの獲得</p> <p>・今後の大型イベント等への対策</p> <p>・公共交通の利便性の向上</p> <p>・着地コンテンツの多様化、高単価・高付加価値化(再掲)</p>
③	島外から淡路島への移動、島内における移動に係る手段の充実	<p>○観光地が点在し、今後観光資源の多様化を踏まえると、周遊には小廻りの効く移動手段が不可欠。</p> <p>○公共交通機関を利用して来島した観光客の島内における移動手段の確保、円滑な接続が必要。</p> <p>○大阪・関西万博の開催、船舶の高速化等を踏まえ、淡路島への海上交通のあり方検討が必要。</p>	<p>○島内におけるレンタカー貸出し先の拡充、環境配慮型モビリティ（EV・FCVのバス・レンタカーなど）の導入に向けた実証</p> <p>○二次交通の確保と既存公共交通との連携の向上</p> <p>○乗り継ぎ検索システムの開発(南あわじ市版バスマの全島展開)</p> <p>○海事観光、船便運行に向けた取組の推進</p>	<p>・「海の観光」（海事観光）の推進</p> <p>・公共交通の利便性の向上(再掲)</p>
④	持続可能な観光地域づくり	<p>○淡路島の観光産業は、島内GDPの15%以上を占め、地域経済への影響は大きい。</p> <p>○淡路島の人手不足は慢性的であり、観光地を支える人手の確保、人材の育成は不可欠。</p> <p>○ユニバーサルツーリズムなど多様な旅行者のニーズに対応した受入環境の整備が必要。</p> <p>○観光関係の施設、個店、地域が、SDGsに即した取組をしないと、観光客から選ばれなくなる。</p> <p>○大都市圏からのアクセス優位性を生かしたワーケーションは平日・年間利用が期待できる。</p>	<p>○施設・飲食店等の主体的なSDGsの取組み支援(認証制度の創設等)</p> <p>○サステナビリティにつながるコンテンツの開発</p> <p>○心地いい滞在を支援するユニバーサルツーリズムの推進（機運醸成、人材育成、サービスの見直し、ハード整備）</p> <p>○観光産業を支える人材・人手の確保と従業員満足度の向上に向けた施設・飲食店等の主体的な取り組み</p> <p>○観光と地域おこしが連携した取組の推進</p> <p>○ひょうごフィールドパビリオンの継承・発展</p> <p>○ワーケーション需要の取り込みと受入環境の整備促進</p>	<p>・「地域内調達率」</p> <p>・「交流人口」だけでなく、「関係人口」も視野に</p> <p>・観光を支える「人手・人材」の確保</p> <p>・SDGsに基づく持続可能な観光地づくり</p> <p>・「ユニバーサルツーリズム」（UT）の推進</p> <p>・「DX」の推進(再掲)</p>